

日本学術会議  
フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会  
持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会(第25期・第3回)  
議事要旨

日時 令和3年9月12日(日)15:00~17:00

会場 ビデオ会議にて開催

出席(分科会委員) 春日文子、窪川かおる、鈴木康弘、日置光久、氷見山幸夫、山形俊男、小田宏信、小金澤孝昭、小林亮、丹羽淑博;(オブザーバー)小川博久、小澤鷹弥、川真田早苗、嵩倉美帆、鈴木克徳

欠席 谷口真人、福士謙介、山口しのぶ

資料:

資料 1: 第 25 期第 2 回持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会議事要旨

資料 2: 分科会委員名簿

資料 3: 海の学びカリキュラム小委員会名簿

資料 4: ESD/SDGs カリキュラム小委員会委員名簿

資料 5: Future Earth の概要

資料 6: 「カーボンニュートラルに関する連絡会議」について

議題

0) 新任分科会委員挨拶

- ・春日委員より新任の挨拶があり、他の委員から自己紹介があった。

1) 分科会に関する国際的・国内的動向

- ・ユネスコの新しいイニシアティブ「Futures of Education」においてヘイトスピーチをテーマとするオンラインフォーラム「Addressing Hate Speech through Education」が 9/30~10/1 に開催される。
- ・Earth Commission、Earth Targets、Global Commons Alliance 等について紹介があった。

2) フューチャーアースについての勉強会(講師:春日委員)

- ・春日委員より、資料 5 に基づいて、フューチャーアースの歴史とミッション・目的の紹介後、フューチャーアースの国際的活動と日本での活動・課題について3つのカテゴリー(Facilitate Research and Innovation, Build the Field, Shape the Narrative)に分けて説明が行われた。さらに、フューチャーアースの新運営体制と国際事務局(世界各地に 8 つの事務局が存在、そのうちアジア地域に日本を含め 4 つの事務局がある)、日本の事務局体制について説明が行われた。
- ・これから人文社会科学の一層の参画が期待されるとの議論があった。

### 3) 次回分科会(12月、オンライン、公開)について

- 12月19日(日)13:00~16:00に公開ワークショップをオンラインで開催することを決定した。
- 公開ワークショップでは二つの小委員会からそれぞれ3件(計6件)の報告を行った後に、ディスカッションを行う。ESD/SDGsカリキュラム小委員会からは学校と地域との連携をテーマにESD/SDGs教育の授業実践の報告を行う。海の学びカリキュラム小委員会からはオンラインによる海洋教育の実践事例を中心に報告を行う。
- 氷見山分科会委員長がプログラム案を含むワークショップ提案書(案)を作成し、分科会委員に共有しメールベースで議論を行った後に、正式な提案書を学術会議事務局に提出する。
- 分科会としてカーボンニュートラルへの取り組みの重要性を認識するが、それをワークショップの看板にはしないこととした。

### 4) その他

- ESD/SDGsカリキュラム小委員会の追加委員に資料4の名簿に記された新井雅晶、小玉敏也、島田智、棚橋乾、安田昌則の各氏に加えて海洋研究開発機構の石原靖久氏が入る予定であることについて、小金澤委員より説明があった。